

ジャーナル『万博学／Expo-logy』

(万博学研究会編、思文閣出版刊)

創刊号 (2022年12月) 特集「植民地なき世界の万博」
第2号 (2023年12月) 特集「冷戦と万博」

第3号 (2024年12月)

特集「大阪万博前後の世界」刊行記念!

2024年

12月7日[土]

定員190名

第Ⅰ部 14:00-17:50 | 参加無料

* 第Ⅱ部 18:30-20:00

お弁当・お茶付き (実費1,100円を頂戴します)

12月8日[日]

定員50名

* 第Ⅲ部 10:00-12:00 | 参加無料

事前申込み制 | 先着順 |

最終締切り12月1日[日]

*のセッションは、12月7日± 第Ⅰ部にご出席の方のみ
お申込みいただけます。

12月7日± 第Ⅰ部のみYouTube配信を
予定しています(申込み不要)。

当日、万博学研究会ホームページ

(<https://cp.educ.kyoto-u.ac.jp/expo-logy/>)

「プロジェクト」欄に詳細を掲載します。

12月7日±に会場にお越しの方は、

ジャーナル『万博学／Expo-logy』創刊号・第3号

(定価各2,000円+税)を割引でお求めいただけます。

万博学研究会 (2010年-)は、

多様な分野の研究者や、博覧会などの現場で

活躍する専門家たちが集う、共同研究集団です。

主催 | 万博学研究会

共催 | 科学研究費助成事業 (基盤研究B)

「領域横断的な万国博覧会史研究を通じた新しい戦後史叙述の
可能性」(JP23K21957)

協力 | 株式会社思文閣出版

会場

グランフロント大阪北館8F

ナレッジキャピタル

カンファレンスルームタワーC

JR大阪駅より連絡デッキで直結 (徒歩3分)

万博学／Expo-logy



シンポジウム

Banpakugaku: Expo-logy

19世紀半ばに始まり、今日につづく世界最大の公式催事、万国博覧会。そのさまざまな側面をつぶさに研究すれば、各時代の人間たちの歩みが、赤裸々に浮かび上がってきます。

万博学研究会では、論集『万国博覧会と人間の歴史』(2015年)、『万博学—万国博覧会という、世界を把握する方法』(2020年)に続き、2022年12月、ジャーナル『万博学／Expo-logy』(年1回)を創刊。最新の研究成果を、着実に、よりタイムリーに、多くの方々と共有していきます。

創刊からの3号では連続して、第二次世界大戦後の万博と世界を特集しました。本シンポジウムでは執筆陣がそのエッセンスを紹介します。万博をレンズに世界の歴史を活写する、「万博学」を体感してください。

12月7日[土] ナレッジキャピタル カンファレンスルームC01+C02

13:30 開場・受付開始

14:00 挨拶 (万博学研究会代表 佐野真由子)

14:10 第I部

第1セッション 「大阪万博前後の世界と日本」

報告1 沖縄国際海洋博覧会と平和祈念公園の成立 | 君島彩子 (和光大学表現学部講師)

報告2 皇室・王室と万国博覧会 | 牧原出 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

報告3 万博から読み解く欧州統合—EUの「結集」に至る経緯とその背景
能勢和宏 (立命館大学文学部准教授)

報告4 パピリオンと音楽—戦後の万博における前川國男 | 井上さつき (愛知県立芸術大学名誉教授)

コメント 福岡良明 (ゲスト / 立命館大学産業社会学部教授)

パネル討論 | ファシリテーター 飯田豊 (立命館大学産業社会学部教授)

15:45 休憩

16:15 第2セッション 「万博が映した脱植民地化と冷戦の時代」

報告5 戦後万博に見る科学技術国家の自画像 | 有賀暢迪 (一橋大学言語社会研究科准教授)

報告6 カナダ史と万国博覧会—モントリオールから大阪へ
鈴木健司 (同志社女子大学表象文化学部教授)

報告7 万博と「植民地なき世界」—国際博覧会条約1972年改正
佐野真由子 (京都大学大学院教育学研究科教授)

報告8 対峙と売込み—冷戦期万博における東側陣営の二重戦略
市川文彦 (フランス国立社会科学高等研究院Senior Fellow)

コメント 池田亮 (ゲスト / 東北大学大学院国際文化研究科教授)

パネル討論 | ファシリテーター 岩田泰 (公益社団法人2025年日本国際博覧会協会経営企画室長)

17:50 中締め

18:30 第II部

Q&A～懇談セッション (お弁当をとりながら行います)

20:00 終了予定

12月8日[日] ナレッジキャピタル カンファレンスルームC01

9:30 開場・受付開始

10:00 第III部

総合討論「万博学の可能性」(参加者全員で議論します)

12:00 終了予定

ジャーナル『万博学／Expo-logy』掲載論文は、万博学研究会(通常、年4回)での発表をもとにまとめ直したものです。

また本誌は、独特の査読プロセスを採用しています。論文のみならず、コラムを含むすべての原稿は、編集チームが共同で読み込んだのち、執筆者自身が出席する「原稿読み合い会」で徹底討論を行い、その後、執筆者による改稿、編集チームの再チェックを経て掲載されています。学際的な研究を対象とする場合の有効で建設的な査読方式として、本誌が学界に提案するものであり、今後とも毎号改善を重ね、磨きをかけていきたいと考えています。本誌への一般投稿は募集していませんが、将来、寄稿を希望される方は、万博学研究会での発表に応募してください。(研究会ホームページ <https://cp.educ.kyoto-u.ac.jp/expo-logy/> の「ご案内」欄を参照してください)

シンポジウム 「万博学／Expo-logy」

「万国博覧会の戦後世界史」に向けて

お申込みはこちら

<https://expo-logy202412.peatix.com>



交通アクセスマップ
<https://kc-l.jp/access/>

タワーCへのアクセスマップ
<https://www.kc-space.jp/conference/items/towerC.pdf>



会場

グランフロント大阪北館8F
ナレッジキャピタル
カンファレンスルームタワーC

JR大阪駅より連絡デッキで直結(徒歩3分)

お問い合わせ

soc.expo.logy@gmail.com (万博学研究会)